

講座No.
15

近畿を知るまち歩き(2) —大阪沿岸部から中心地の発展史—



文学部／日本学科
齋藤 鮎子 講師

本講座では、大阪の沿岸部の開発史が良くわかる場所を巡ります。また、都市開発という観点からこれまでの大坂、これからの大坂について考えます。資料には、各種地図、航空写真、浮世絵、写真などをふんだんに盛り込み工夫をしています。みなさんが大阪を巡る旅と一緒に出かけましょう！

※集合・解散場所は追ってご連絡いたします。

講義時間：13時00分～17時00分

開講日：11/22㊁（全1日間1回）

受講料 1,500円

定員 20名

講座No.
16

生成AIを使ってみよう



経営学部／経営学科
本多 佑希 講師

テキスト生成AIの基本的な使い方を実際に体験しましょう。様々な指示（プロンプト）を与えて文章作成や質問応答を試し、AIの特性や、どのような場面で役立てられるかを学びます。

※本講座では生成AIである「ChatGPT」を利用します。
ご受講日までにアカウントの登録をお済ませください。

講義時間：13時00分～14時30分

開講日：11/29㊁（全1日間1回）

受講料 1,000円

定員 15名

講座No.
17

楽しく歌おうコーラス講座



木下 裕子 講師

講座テーマ 声の響きを楽しもう！

おなかの底から声を出すと、気分も晴れやかになります。そして、多くの声の響きに包まれると、心も身体も不思議と癒されます。初心者の方も大歓迎です。日本の歌、世界の歌、懐かしい歌をみんなで歌いましょう。最終日には皆さんの歌声を披露する発表会もあります。

※別途、テキストをご準備ください。
(愛唱名歌 増訂版 野ばら社 約1,000円)

講義時間：10時55分～12時25分

開講日：11/12㊂、11/19㊂、11/26㊂、12/3㊂、12/10㊂、12/17㊂、
1/14㊂、1/21㊂、2/4㊂、2/18㊂、2/25㊂、3/4㊂（全12日間12回）

受講料 20,400円

定員 20名

たいし塾

開催場所：四天王寺大学

テーマ「心とは何かを考える
—心理学と仏教からのアプローチ—

本講座では、人間にとて根源的な問い合わせ、「心とは何か？」をテーマに、多角的な視点から考察します。心理学は心を観察・分析し、認知や感情、行動のしくみを科学的に探ろうとします。一方、仏教は心の苦悩や迷いを直視し、その克服と解放の道を示してきました。本講座では、心理学と仏教の専門家による講義や対話を通じて、心の働き、無意識や感情の理解、瞑想や自己省察の意義などを取り上げます。異なる学問や伝統が交わることで、心を多面的に捉え直し、受講者の皆さん的生活や思索に活かす契機とすることを目指します。

11/22 土
13:30～15:00

講座 No. A

▶ 「わたし」とは何か —パーソナリティ心理学の視点から—

社会学部／社会学科 上野 淳子 教授

自分で思う「わたし」と他者の目にうつる「わたし」は一致するのでしょうか。異なる状況であっても同じ「わたし」といられるのでしょうか。心理学の視点から、「わたし」とは何かをひもときます。

12/6 土
13:30～15:00

講座 No. B

▶ 心で心をおもうこと —なぜ人は罪を犯すのか—

社会学部／社会学科 茂木 洋 教授

目に見える行為の背後には、見えない心の動きがあります。したがって心をどうぞくに行為を理解することはできないし、行為を抜きに心を考えることもできません。人は何を目指して生きるのかという観点から犯罪について考えてみます。

講座No.
18

続日本紀を読む[4]



中山 潔 講師

講座テーマ 古代史史料『続日本紀』の講読

『日本書紀』に続く『続日本紀』は古代史を学ぶ上での根本史料です。原文は漢文ですので、書き下し文での講読を進めます。読む機会の少ない書物ですが、古代史、特に奈良時代・律令制度を学ぶ上で、また「古事記」「日本書紀」が書かれた時代を知る上でも一度は読んでおきたい書物です。内容的には、元明天皇が退位し、元正天皇の時代、靈龜・養老年間です。平城遷都後の律令制度の現実的な対応が工夫された時代です。一回あたり二年から三年のペースで読み進める予定です。

講義時間：10時00分～11時30分

開講日：11/8㊁、12/13㊁、1/10㊁、2/7㊁、3/7㊁（全5日間5回）

受講料 6,000円

定員 20名

講座No.
19

河内・和泉の『名所図会』を楽しむ[2]



中山 潔 講師

講座テーマ 『河内名所図会』・『和泉名所図会』の挿絵を読み解く

『河内名所図会』は、享和元年（一八〇一年）に秋里離島（あきさとりとう）の解説文、丹羽桃溪（にわとうけい）の描いた写実性の高い挿絵で発刊されました。二人は現地調査を踏まえて出版した分かりやすいガイドブックです。『和泉名所図会』は河内よりも5年早く、寛政六年（一七九六）発刊で、解説は同じ秋里ですが、挿絵は竹原春潮斎です。画風や描き方を比べてみると興味深いと思います。この講座では、挿絵に注目しながら、現況と比較したり、地域の歴史を探りながら進めていきたいと思います。

①高安郡・若江郡・河内郡、②讚良郡、茨田郡、交野郡③和泉国大鳥郡、④和泉郡、⑤南郡・日根郡

講義時間：10時00分～11時30分

開講日：11/29㊁、12/20㊁、1/24㊁、2/21㊁、3/14㊁（全5日間5回）

受講料 6,000円

定員 20名

講座No.
20

無理なく引き締め！健康ダイエット



川勝 勝司 講師

講座テーマ 無理なく体を引き締める健康的な体づくり講座

パーソナルトレーナーが指導するグループトレーニングで、無理なく体を引き締めていきます。仲間と一緒にこそ楽しく続けられ、一人では挫折しがちなダイエットも継続可能。LINEで食事の相談もでき、健康的に理想の体づくりをめざせます。

持ち物：上靴、タオル、飲料

講義時間：9時30分～10時30分

開講日：11月～2月毎週金曜日（但し、11月14日、12月26日、1月2日、1月9日を除く）
(全13日間13回)

受講料 15,600円

定員 10名

たいし塾

開催場所：四天王寺大学

テーマ「心とは何かを考える
—心理学と仏教からのアプローチ—

本講座では、人間にとて根源的な問い合わせ、「心とは何か？」をテーマに、多角的な視点から考察します。心理学は心を観察・分析し、認知や感情、行動のしくみを科学的に探ろうとします。一方、仏教は心の苦悩や迷いを直視し、その克服と解放の道を示してきました。本講座では、心理学と仏教の専門家による講義や対話を通じて、心の働き、無意識や感情の理解、瞑想や自己省察の意義などを取り上げます。異なる学問や伝統が交わることで、心を多面的に捉え直し、受講者の皆さん的生活や思索に活かす契機とすることを目指します。

11/22 土
13:30～15:00

講座 No. A

▶ 「わたし」とは何か —パーソナリティ心理学の視点から—

社会学部／社会学科 上野 淳子 教授

自分で思う「わたし」と他者の目にうつる「わたし」は一致するのでしょうか。異なる状況であっても同じ「わたし」といられるのでしょうか。心理学の視点から、「わたし」とは何かをひもときます。

12/6 土
13:30～15:00

講座 No. B

▶ 心で心をおもうこと —なぜ人は罪を犯すのか—

社会学部／社会学科 茂木 洋 教授

目に見える行為の背後には、見えない心の動きがあります。したがって心をどうぞくに行為を理解することはできないし、行為を抜きに心を考えることもできません。人は何を目指して生きるのかという観点から犯罪について考えてみます。

12/20 土
13:30～15:00

C
講座 No.

▶ ロボットは他者となり得るか
—一対人魅力の観点から考える—

社会学部／社会学科 藏口 佳奈 講師

現代社会においてロボットを見かける機会は増えていますが、このロボットは他者と位置付けることができるのでしょうか。対人関係構築において欠かせない対人魅力の研究知見や理論から、ロボットの存在を考えます。

1/24 土
13:30～15:00

D
講座 No.

▶ 「こころ」は身体で感じる
—フェルトセンスから新しい意味を創造する
フーカシング入門—

社会学部／社会学科 三宅 麻希 准教授

私たちは「こころ」をどのようにして知ることができるのでしょうか。「フーカシング」という心理療法の手法では、ほんやりと感じられる身体的な意味感覚である「フェルトセンス」を手掛かりに「こころ」を知ろうとします。その理論的背景について解説します。

2/7 土
13:30～15:00

E
講座 No.

▶ 心のメカニズムを学ぶ
—仏教心理学としての唯識思想—

社会学部／社会学科／学科長 藤谷 厚生 教授

大乗仏教における唯識思想は、まさに我々の深層の心（意識）を詳細に分析した、いわば仏教心理学という理論的な哲学です。西洋的な心理学とは対照的に、この心のメカニズムの思想をもとにして「心とは何か」を考えてみます。